

科目名	医療安全学研究方法論		D2-201	担当教員名	狩俣 正雄、廣瀬 稔、 和佐 勝史、石松 一真
単位数	1単位		必修	配当年次	1年次・第1セメスター(前半)
曜日・時限	金曜日・6限目			教室	オンライン授業
授業概要	<p>昨今、医療の多くの領域で、様々なガイドラインや指針などが作成され、これらに基づくEvidence-Based Medicine(EBM)の実践は、医療の質の向上や、医療安全に繋がっている。一方で、医療は日々発展しており、たゆまない研究によるエビデンスの作成が求められる。医療安全学の研究は広範であり、また職種によっても方法論は大きく異なる。本講義は、医療安全領域における研究方法論について、医療の質・安全、経営管理の観点から、オムニバス方式で概説する。</p> <p>1) 医療安全に関して得られた経験・知識・技術を集約して科学として体系化し、医療現場における持続的な患者安全の実践に役立てるために必要となる種々の研究方法を理解し、説明することができる。</p> <p>2) 修士論文を含め、研究計画の立案と論文作成能力の基盤となる考え方を身につけ、活用することができる。</p> <p>3) 研究倫理の重要性を認識できる。</p>				
回	日程	見出し	内 容		実践的な 授業方法
1	4/9	医療安全学とは (和佐)	本学が主導する医療安全学の基本理念を紹介するとともに、わが国の医療の質・安全に関する研究領域や動向、これに関連する研究方法論について概説する。		
2	4/16	医療安全研究の枠組み (石松)	医療安全の研究の枠組みを概説する。研究方法をはじめ、研究計画書の書き方についても説明する。その他、受講生とのディスカッションを交えながら、研究への取り組み方について考える機会を持つ。[ディスカッション]		○
3	4/23	リサーチクエスチョンと 研究デザイン(石松)	臨床実践の中で生じた疑問を文献検討を経て科学的に検証可能なリサーチクエスチョン(RQ)としてモデル化し、研究デザインを選択する方法を概説する。また、討議を交え自己のRQや研究デザインについて具体的に考える機会を持つ。[ディスカッション]		○
4	4/30	医工学からみた研究デ ザイン(廣瀬)	医療機器の取扱上のミスを防止するための基本は、医療機器開発段階でミスを起こしにくいデザインにすることであるが、設計段階では気付かないこともある。これを補完するのが機器使用者の気付きであり、これがより安全な医療機器の開発につながる可能性がある。講義では過去の事故事例等を紹介しながら、より安全向上のために具体的にどうすれば良いかを考えてみる。[ディスカッション]		○
5	5/7	共同研究の実施方策 (廣瀬)	医療科学における研究は、医療機関内だけではなく関連産業界との連携(医工連携)で行う共同研究の形を取ることが多い。この場合、医療機関の研究者は医療安全の観点から指摘することが重要になる。講義では、具体的な例を紹介しながら、共同研究の方策等について説明および考える機会を持つ。[ディスカッション]		○
6	5/14	社会科学における研究 アプローチ(狩俣)	社会科学の研究では、研究対象にしている事象をどのように捉えるかによって多様なアプローチが行われている。科学的論争としては、存在論、認識論、人間性、方法論の四つの仮説で論争がある。講義では、これらを紹介しながら、インテグラル・アプローチの特徴について説明する。[ディスカッション]		○
7	5/21	定性的研究 (狩俣)	定性的研究に関わるインタビュー法や参与観察法の仕方、質的調査の利点、質的調査の留意点、質的研究に必要なデータ収集、データ作成、データ分析の方法について講義する。[ディスカッション]		○
8	5/28	研究倫理と研究遂行上 の課題(和佐)	医療安全学領域の研究に必要な研究倫理の考え方について講義する。修士論文研究遂行上の課題について具体的に説明し、討議によりその解決策を理解する。[ディスカッション]		○
キーワード		医療安全、量的・質的研究、リサーチクエスチョン、研究倫理、研究デザイン		履修条件	なし
教材等	教科書(要事前購入)	教科書は特に指定しない。講義で使用する資料は適宜配付する。			
	参考書(任意購入)	特になし			
成績評価方法(%) [評価のポイント]		レポート(100%)、再試1回 [種々の研究方法を理解し、研究計画が立案できる能力を有するかを評価します。]			
授業時間外に必要な学修		授業内容を理解したうえで、各自の修士論文のための研究計画を具体的に立案できるように、復習が大切です。			
学生へのメッセージ		本学が目指す医療安全学の体系化のための方法論を理解し、修士論文研究の基礎知識として活用してください。また研究倫理への配慮は研究者の義務です。			

※ 授業の日程については変更する場合があります。